【令和2年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

			概要(Pla	ın)		実施	施内容(Do)・評価(Check)	改善(Act)							
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	「施策の方向」を達成するための事業目標 で、数値目標又は状態目標について記入)	No.	主な取組	取組 状況	男女共同参画配慮項目	評点	各課 平均	施策平均		令和2年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)
						72	さまざまな学習機会及び情報の提供、充実	0	4.事業の方向性について男女共同参画に配慮し た	4				・YouTubeなど初めての試みを行い、集合形式による 定員以上の人に学習の機会を提供することができた。 ・センターHPをリニューアルし、市公式HPに含める形と したことで、利便性が増し、男女共同参画について市 民が触れる機会をより提供することができた。 ・相談予約をオンラインからも可能とし、またZoomや電	・リニューアルしたHPを活用して、男女共同参画に関するどのような資料がセンターにあり閲覧できるのかなど、今後データベース化していくことがさらなる充実に繋がると考える。
							市民提案型協働事業の実施	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4			・NPO法人と市民提案型協働事業を実施・センターHPをリニューアルし、市公式HPに含める形とし、生徒・教職員向けにLGBTに関する啓発したことで、利便性が増し、男女共同参画について市		
計			●相談·情報· 学習·交流機	男女共同参 画推進セン ター(人権推 進課)			相談事業の充実	日談事業の充実 ⑤ 5.事業の効果が	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	3.8				
画実現			能の活性化と事業の多様化			75	情報紙、ホームページ運営の充実	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	4 B	した。 ・近隣市をはじめ他県や関係機関から 男女共同参画に関する情報を収集した。 ・センター実施事業参加者 R2実績:2,191			
の						76	76 情報収集・調査研究の充実	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3			名※YouTube閲覧数含む(R1実績:1,162 名) ・ビギン発行部数 50,200部		
た め 推	(1)拠点施 設「男女共 同参画推進			自治文化課	市民提案型協働事業説明会について は、誰もが参加しやすいように日程を設 定する。(14:00・19:00の2回開催)	73	市民提案型協働事業の実施	0	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加し やすいような配慮をした	3	3.0		【市民提案型協働事業事業説明会】 2回開催 3団体 4名	・市民提案型協働事業を推進するために、市民活動センター登録団体交流会等で積極的に情報提供を行ったことにより、市民提案型協働事業のPRに努めた。	・市民活動団体・NPO団体の現状把握を行うことで連携強化に努めていく。また、市民活動センター登録団体との関係についても、更なる連携が図れるように努めていく。
進体制	センター」の 機能・事業 の充実			(人権推進課)	・より内容の充実した事業を実施するためにも、県や近隣市と協力した事業を年1回以上開催する。 ・各種講座の修了者の活躍の場を創出するため、関係機関や団体・業者と男女センターとの基盤作りを行う。	77	77 国・県・他市町村・関係機関等と の連携強化 「	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4					
を充実す						78		4.事業の方向性について男女共同参画に配慮し た	4	3.7			・ちいさなお仕事応援講座の修了生が、前年度から引き続き、市民団体及び民間事業者に繋がり出店することができた。		
する			●市民・団体・ 事業者との連 携の促進			79	団体・事業者との交流の場の提供	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3		2.9			
					市民・団体・事業者の連携促進を図るために、誰でも参加でき、楽しめる交流会を 目指し女性の目線で企画・運営できるように配慮する。	79	団体・事業者との交流の場の提供 供	0	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加し やすいような配慮をした	3	3.0		- 市民活動センター登録団体交流会 1回開催 25団体 28名	・市民活動センター登録団体交流会を開催することで、既存団体同士の交流の場を提供することができた。男女問わず多くの参加者により交流することができた。	・登録団体交流会を継続して開催することで新規・既存団体が交流できる場を提供していきたい。また、男女共同参画に繋がるように努めていきたい。
				商工観光課	施設利用の推進や、事業周知等を行 なう。	79	団体・事業者との交流の場の提 供	0	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加し やすいような配慮をした	2	2.0		・男女共同参画推進センターで行われる事業のチラシの掲出、情報提供を行った。	・庁舎内における資料掲示を通じ情報提供・啓発を 行った。	・引き続き啓発資料や案内などを配信し、啓発に努める。

【令和2年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

概要(Plan)								改善(Act)							
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	「施策の方向」を達成するための事業目標 (数値目標又は状態目標について記入)	No.	主な取組	取組 状況	男女共同参画配慮項目	評点	各課 平均	施策 平均	令和2年度に取組んだ重点的な事業 (実績値もあれば併せて記入)	令和2年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)
計画	(2)庁内推 進組織の活 性化			男女共同参 画推進セン ター(人権推 進課)	人権施策庁内連絡会議や施策連携会議 の場で男女共同参画施策の推進に関す る協議を行い、職員の啓発を図る。	80	男女共同参画に関する庁内推進 組織の設置、運営	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	40		状況を報告し、審議会からの指摘事項につ 項: いて報告するとともに、各課に対しても掲示 らう 板にて報告した。 ・	項を伝えたことで、各課にたいして問題意識を持ってもらうことに繋がった。 ・市民意識調査の結果報告書を公開したことで、市民や職員に対して、男女共同参画の進捗状況を客観的に知ってもらうことができた。	・市民意識調査の結果を考察し、課題となっていること について洗い出しを行い効果的な事業に繋げていくことが必要である。
画実現			●職員の男女 共同参画意識			81	男女共同参画意識を定期的(5年 ごと)に調査	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4		3.5	て報告した。		
のため			の啓発	人事課	・職員研修の一科目として実施する。		男女共同参画意識を定期的(5年 ごと)に調査	Δ		3	3.0		・人権推進課と共同で「男女共同参画研修」 を実施し、37名が受講した。 ・新規採用職員研修(中期)の一科目として 「男女共同参画について」を実施し、38名が 受講した。		・男女共同参画の意識向上が図られる研修となるよう、研修内容等を検討し継続して実施する。 見込み人数 60名
推進体						82	意識定着に向けた研修・啓発の実施	0	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加し やすいような配慮をした	3					
制				ター(人権推	人権施策庁内連絡会議や施策連携会議等の場で男女共同参画施策の推進に関する協議や各種事業を実施し、各課の取組についてさらなる改善を図る。		特定事業主行動計画(女性活躍 推進法)の推進	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3	3.5		る審議会から各課に対する評価・指摘事項 次長		・職員に対して男女共同参画の必要性を認識してもらうため、ブランの評価や審議会からの意見について、あらゆる場を活用して伝えていくことが必要である。
を充実			●庁内組織の				第4次いるま男女共同参画プランの 進捗状況の把握による意識啓発	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	2.8	・人事課や商工観光課など関係各課と特定 事業主行動計画等の女性活躍に関する国 や県からの情報共有を行った。			
実する			体質改善	人事課	・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画について、現在の社会や職場の 状況等を踏まえた改訂を行う。		特定事業主行動計画(女性活躍 推進法)の推進	0	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加し やすいような配慮をした	2		2.0	計画を改訂した。改訂にあたっては国の指 訂し	ム、職員に周知した。 間市における女性職員の活躍の推進に関する検 委員会は新型コロナウイルス感染症の影響により	・委員会を開催し、女性活躍の推進について検討を進める。
				八爭衃	・入間市における女性職員の活躍の推進 に関する検討委員会を年度で2回以上開 催する。		第4次いるま男女共同参画プラン の進捗状況の把握による意識啓 発	Δ		0	2.0		の意見聴取を行った。	理職昇任試験受験者数(女性) 4人 查昇任試験受験者数(女性) 11人	

【令和2年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

			概要(Plan))				改善(Act)						
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	「施策の方向」を達成するための事業目標 (数値目標又は状態目標について記入)	No.	主な取組	取組 状況	男女共同参画配慮項目	評点	施罗	策 令和2年度に取組んだ重点的な事業 (実績値もあれば併せて記入)	令和2年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)
計画実	(3)計画の 進行管理・ 評価		●計画の進捗状 況を分析・評価し 改善	男女共同参画推 進センター		85 À	進捗状況の調査・評価と公表	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4		め、施策連携会議の場で各部の次長に報 ことができた。 告し、各担当課へ直接メールにて今後の取り組みに活かすよう依頼した。報告書等は、	調査の結果を第5次プラン策定に活かして、評価しや すく分かりやすい内容となるよう検討する。	
現のため推							評価に伴うフォローアップ	©	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	3.8		ないYouTubeによる動画配信を行ったことで、より多く の方に、男女共同参画推進センターを知っていただく	3<
進体制を充						07 1	推進センターの事業の実施状況 及び利用状況の公表	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3	した。 ・男女共同参画社会に向けての市民意識調査を実施し、市公式HPに掲載し各課に対して報告した。 ・センター施設利用人数:829人(前年度:			
実する							市民の男女共同参画意識を定期 対(5年ごと)に調査	0	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4		4,059人) ※新型コロナウイル感染症対策のため、年間172日閉館 ・事業参加者数:2,191人(前年度:1,162人) ※YouTubelによる動画配信講座有り		